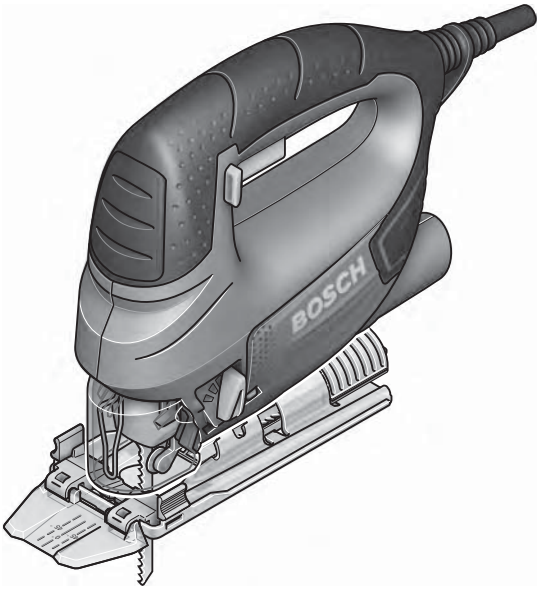
BOSCH

DIY電動工具

ジグソー

PST 700 型
PST 800PEL 型
PST 1000PEL 型

アース不要
の二重絶縁



このたびは、弊社ジグソーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

取扱説明書

目　次

安全上のご注意

警告表示の区分 …… 2
電動工具全般についての注意事項 …… 2
ジグソーについての注意事項 …… 8

本製品について

用　途 …… 10
仕　様 …… 10
各部の名称 …… 13
標準付属品 …… 14

使い方

切断前の準備をする …… 16
切断する …… 22
傾斜角度をつけて切断する …… 26
壁際まで垂直に切断する …… 29
ポケット切断をする …… 31
アクセサリーを使う …… 32
吸じんシステム（別売）と接続する …… 38

困ったときは

故障かな？と思ったら …… 39
修理を依頼するときは …… 40

お手入れと保管

クリーニング …… 41
ジグソーブレードのお手入れ …… 41
保　管 …… 42

安全上のご注意

◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
◆ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告 ◆ **誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ◆ **誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。今回お買い求めいただいたジグソーには、当てはまらない項目も含まれています。

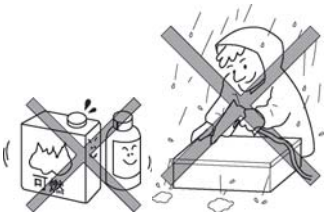
⚠ 警　告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
◆ 作業場は十分に明るくしてください。
◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



3. 感電に注意してください。

◆ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

4. 子供を近づけないでください。

◆ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。

◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。

◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音保護具を着用してください。

◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

◆ 電動工具に集じん機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。

◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工するものをしっかりと固定してください。

◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

◆ 使用しない、または修理する場合。
◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
◆ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

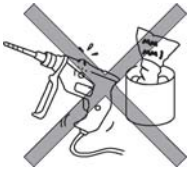
◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
◆ 常識を働かせてください。
◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。

◆ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。



◆ スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

22. 異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。

そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
＜異常・故障例＞
・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
・電源コードに深いキズや変形がある。
・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
・焦げくさい臭いがする。
・ビリビリと電気を感じる。
・スイッチを入れても動かない。　など

23. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

24. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。

◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。

修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ジグソーについての注意事項

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、ジグソーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

⚠ 警　告

1. **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
   ◆ 表示を超える電圧で使用しますと、回転数が異常に高速となりけがの原因になります。

2. **切断する個所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
   ◆ 埋設物にジグソーブレードが触れると、感電・漏電・ガス漏れ事故の原因になります。

3. **使用中は、ジグソーブレードや切り粉の排出部に、手や顔などを近づけないでください。**
   ◆ 手や顔などを近づけると、けがの原因になります。

4. **使用中は、電源コードを傷つけないよう注意し、常にジグソー本体の後方に離してご使用ください。**
   ◆ 電源コードを傷つけると、感電や故障の原因になります。

5. **使用中に電源コードを破損した場合には、電源コードに触れないようにし、速やかに電源プラグを抜いてください。また、破損した電源コードのままで再度使用しないでください。**
   ◆ 破損した電源コードのまま使用すると、事故の原因になります。

6. **使用中は、ジグソー本体を確実に保持してください。**
   ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。

7. 使用中にジグソー本体の調子が悪くなったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

8. 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、工具類（ジグソーブレードなど）やジグソー本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

⚠ 注　意

1. 取扱説明書に記載されている用途および能力以上の作業はしないでください。

◆ 用途以外および能力以上の作業をすると、故障の原因になります。

2. 工具類（ジグソーブレードなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

◆ 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。

3. 工具類（ジグソーブレードなど）の交換は、手袋・ウエスなどで手を保護してから行ってください。

◆ 保護しないと、けがの原因になります。

4. 作業直後の工具類（ジグソーブレードなど）、材料、切り粉などは非常に熱くなっていますので、触れないでください。

◆ 熱い工具類、材料、切り粉に触れると、やけどの原因になります。

5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。

◆ 材料やジグソー本体などを落としたとき、事故の原因になります。

6. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。

◆ 作動させたまま放置すると、事故の原因になります。

本製品について

用　途

◆ 木材やアルミニウム、軟鋼板、プラスチックなどの切断

※ 本製品はご家庭での使用を想定した「DIY 用」製品です。業務（建築作業等）で頻繁に使用される場合、当社「プロ用」製品のご使用をお薦めします。

仕　様

PST700

型　番	PST700
電　源	単相 AC 100V（50/60Hz）
消費電力	400 W
ストローク数	2900 min^{-1}（回／分）
ストローク幅	20 mm
傾斜切断角度	左右 0～45°
最大切断能力（厚さ）	
木　材	70 mm
アルミニウム	10 mm
軟鋼板	4 mm
質　量	1.6 kg
吸じんシステム	接続可
振動３軸合成値	
木　材	9 m/s^2
軟鋼板	8 m/s^2
	EN60745 規格に基づき測定

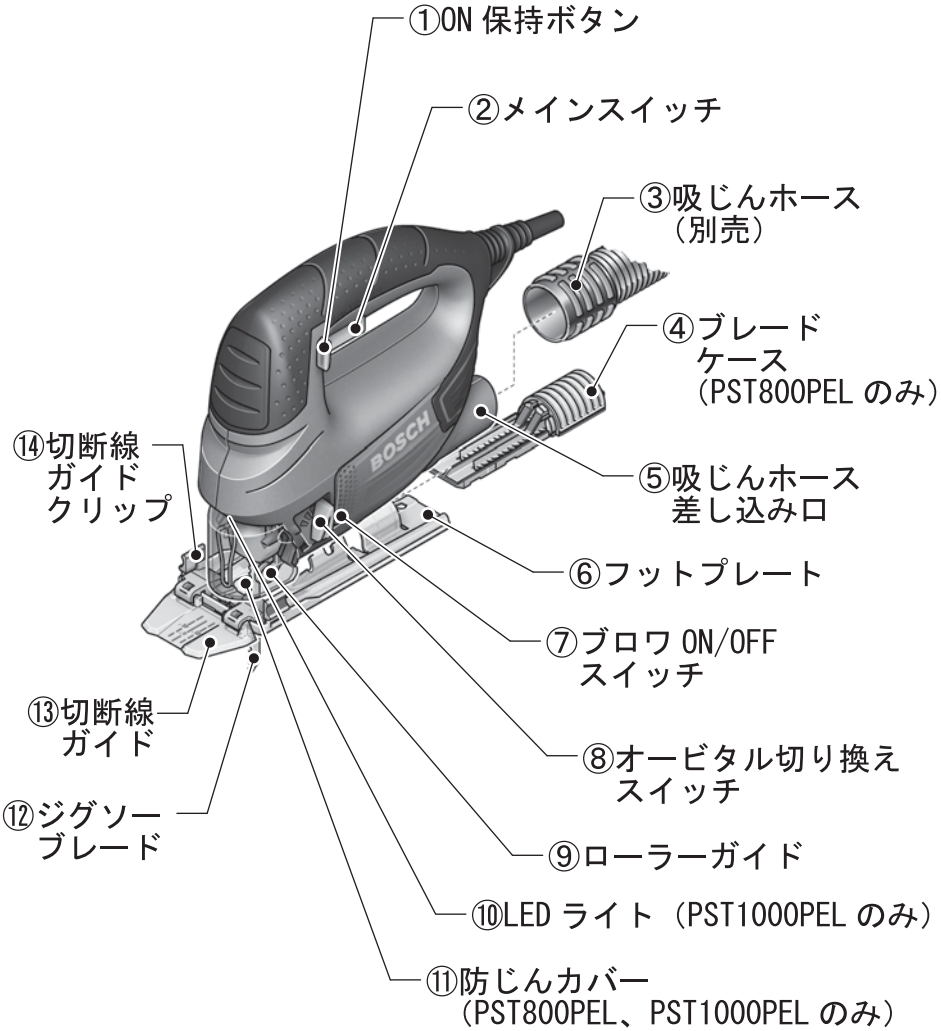
PST800PEL

型　番	PST800PEL
電　源	単相 AC 100V（50/60Hz）
消費電力	530 W
ストローク数	500～3000 min^{-1}（回／分）
ストローク幅	20 mm
傾斜切断角度	左右 0～45°
最大切断能力（厚さ）	
木　材	80 mm
アルミニウム	12 mm
軟鋼板	5 mm
質　量	1.9 kg
吸じんシステム	接続可
振動３軸合成値	
木　材	11 m/s^2
軟鋼板	7 m/s^2
	EN60745 規格に基づき測定

PST1000PEL

型　番	PST1000PEL
電　源	単相 AC 100V（50/60Hz）
消費電力	650 W
ストローク数	500～3100 min^{-1}（回／分）
ストローク幅	23 mm
傾斜切断角度	左右 0～45°
最大切断能力（厚さ）	
木　材	100 mm
アルミニウム	20 mm
軟鋼板	10 mm
質　量	2.2 kg
吸じんシステム	接続可
振動３軸合成値	
木　材	11.0 m/s^2
軟鋼板	9.0 m/s^2
	EN60745 規格に基づき測定

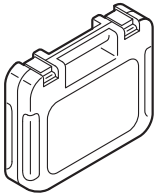
各部の名称



◆ここでは PST800PEL のイラストを使用しています。

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

各機種共通



キャリングケース

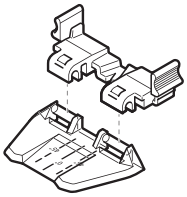
PST700

サンプルブレード（1 本）

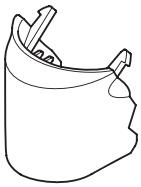
PST800PEL

サンプルブレード（1 本）

バリ止めガイド（ 1 個）



切断線ガイド



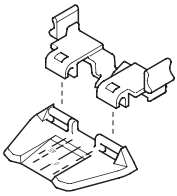
防じんカバー

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

PST1000PEL

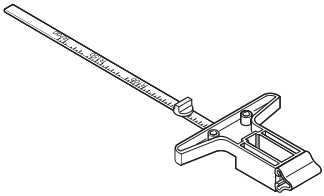
サンプルブレード（6 本）

バリ止めガイド（ 1 個）

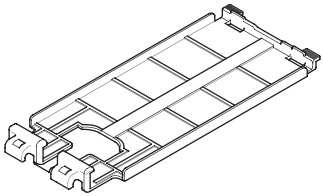


切断線ガイド

防じんカバー



曲線・平行ガイド



プラスチックプレート

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

切断前の準備をする

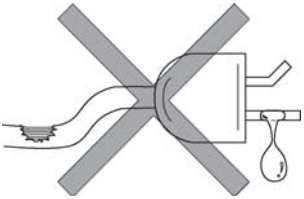
⚠警告

◆ 切断前の準備をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

使用電源を点検する

- 単相　AC100V（50/60Hz）か？
- コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していたりしていないか？



ジグソーブレード⑫を選ぶ

材料の材質と厚みに合ったジグソーブレード⑫を選んでください。
きつい曲線を切断する場合は、曲線切断用のジグソーブレード⑫を使用してください。

木材・プラスチックの切断 ･････････････ 木工用のジグソーブレード
金属などの切断 ･････････････････････ 金工用のジグソーブレード

☞ 切削オイルスプレー（ボッシュ純正）等を使用すると、ジグソーブレード⑫が長持ちします。

ジグソーブレード⑫を取り付ける・取り外す

⚠注意

◆ 切断直後、ジグソーブレード⑫は高温になっています。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
◆ ジグソーブレード⑫の取り付け・取り外しをするときは、けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。
◆ 弊社指定のジグソーブレード⑫を使用してください。

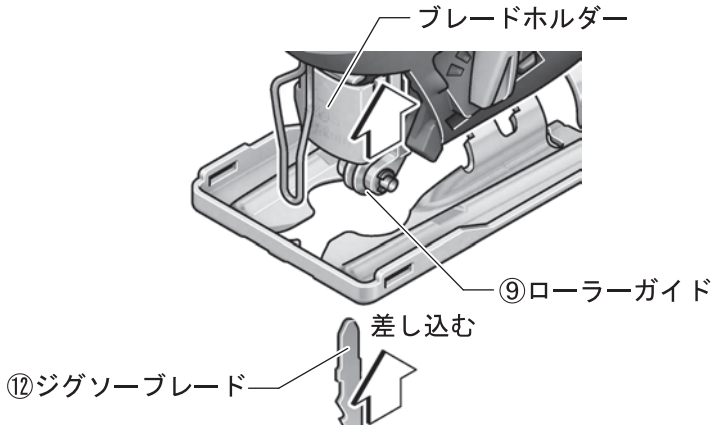
☞ ジグソーブレード⑫の取り付け・取り外しをするときは、防じんカバー⑪を取り外して作業を行ってください。

PST700、PST800PEL

取り付け

1. ブレードホルダーを上にスライドさせます。

2. ブレードホルダーを保持したまま、ジグソーブレード⑫の背をローラーガイド⑨の溝に当て、ジグソーブレード⑫を差し込みます。



3. ブレードホルダーから手を離します。

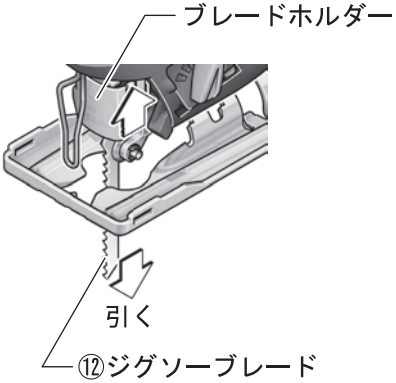
4. ジグソーブレード⑫が確実に取り付けられたかどうか、ジグソーブレード⑫を引いて確認します。
   抜けなければ、取り付け完了です。

取り外し

1. ブレードホルダーを上にスライドさせます。

2. ジグソーブレード⑫を軽く下に引き、取り外します。

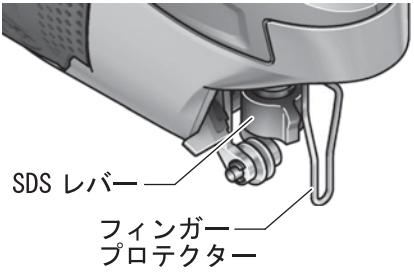
3. ブレードホルダーから手を離します。



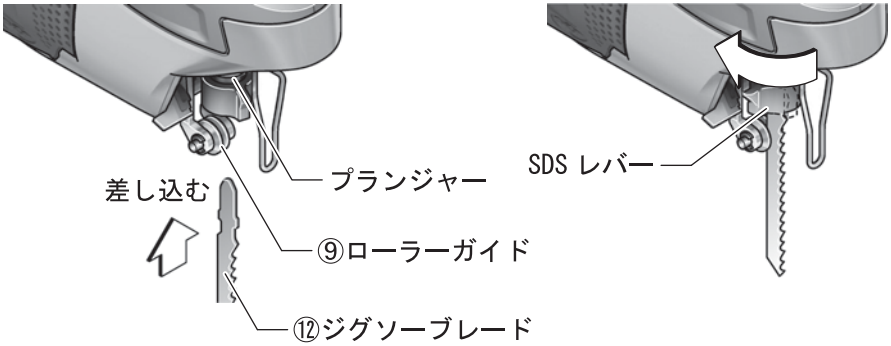
PST1000PEL

取り付け

1. SDS レバーが前側（フィンガープロテクターの方）にあるか確認します。

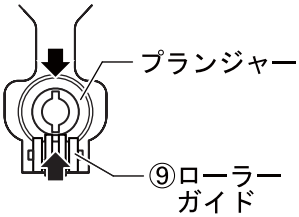


2. ジグソーブレード⑫の背をローラーガイド⑨の溝に当て、ジグソーブレード⑫をプランジャーに差し込みます。奥までしかっり差し込むと、SDS レバーが正面から見て左方向にスライドし、ジグソーブレード⑫が固定されます。



☞ ジグソーブレード⑫がプランジャーに引っ掛かるまで、ジグソーブレード⑫を差し込んでください。

☞ 引っ掛からない場合はジグソーブレード⑫をいったん外し、SDS レバーを矢印の方向に少しスライドさせて、手を離し、プランジャーの溝とローラーガイド⑨をまっすぐに合わせてください。
その後、ジグソーブレード⑫を差し込みます。

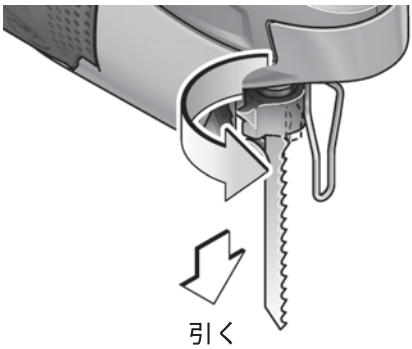


3. ジグソーブレード⑫が確実にプランジャーに取り付けられたかどうか、ジグソーブレード⑫を引いて確認します。
抜けなければ、取り付け完了です。

取り外し

1. SDS レバーを矢印の方向いっぱいにスライドさせます。
SDS レバーをスライドさせると、ジグソーブレード⑫がプランジャーから自動的に外れます。
☞ ジグソーブレード⑫は、SDS レバーの操作で押し出されますので、注意してください。

2. ジグソーブレード⑫を軽く下に引き、取り外します。

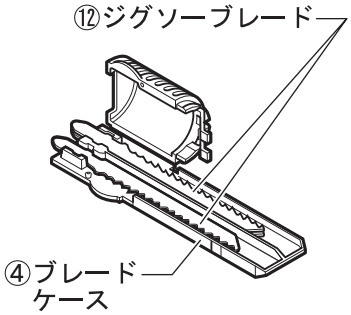


3. SDS レバーから手を離します。

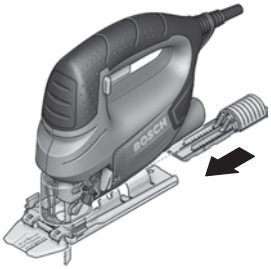
ジグソーブレード⑫を収納する（PST800PEL のみ）

1. ブレードケース④を後ろへ引き出してフットプレート⑥から取り外します。

2. 右図のように、ジグソーブレード⑫のシャンク部を、ブレードケース④の溝に合わせて収納します。ブレードケース④には、最大110㎜の長さまでのジグソーブレード⑫が6本（片側3本）収納できます。



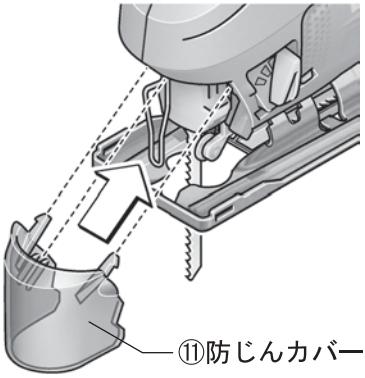
3. ブレードケース④を、フットプレート⑥に矢印の方向で挿入します。ブレードケース④は、止まるまでしっかり挿入してください。



防じんカバー⑪を取り付ける・取り外す（PST800PEL、PST1000PEL のみ）

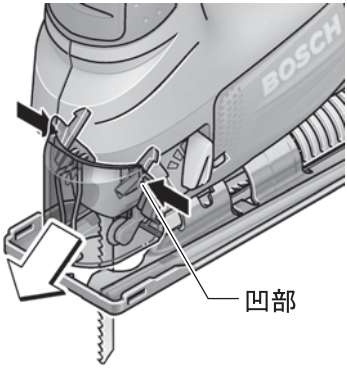
取り付け

防じんカバー⑪を、ジグソー本体の後方（吸じんホース差し込み口⑤側）に向かって押し込みます。



取り外し

防じんカバー⑪の凹部を左右両側から内側に押し込みながら手前に引き抜きます。



① ジグソーブレード⑫を点検する

- ジグソーブレード⑫はボッシュタイプのものか？
- ジグソーブレード⑫が曲がっていないか？
- ジグソーブレード⑫の歯先が欠けていたり、摩耗したりしていないか？

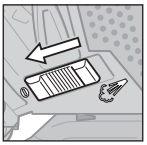
② 「ブロワ ON/OFF スイッチ⑦」を切り替える

本機はけがき線上の切り粉を吹き飛ばす送風（ブロワ）機構を搭載しています。

多量の切り粉が発生する木材や・・・（スイッチ ON）
プラスチックなどの切断時

☞ 「ブロワ ON/OFF スイッチ⑦」を右図の位置にするとエアが噴き出して、けがき線上の切り粉を吹き飛ばします。

金属の切断時や冷却剤・潤滑剤・・・◎（スイッチ OFF）
使用時

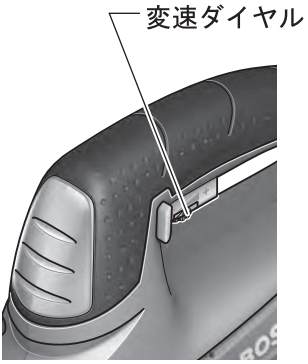


③ 変速ダイヤルでストローク数を調整する（PST1000PEL のみ）

ダイヤル数（1～6）に応じ、ストローク数（最高速度）が調整できます。

1～2＝低ストローク数
3～4＝中ストローク数
5～6＝高ストローク数

☞ 最適なストローク数は、材料やジグソーブレード⑫により異なります。プラスチックを切断する場合は、ストローク数を低めに設定し、焼きつきを防止します。



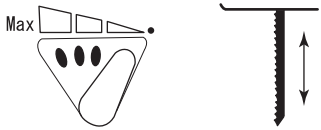
④ 「オービタル切り換えスイッチ⑧」を切り換える（PST800PEL、PST1000PEL のみ）

☞ オービタル機構を ON にすると、ジグソーブレード⑫は上下運動に加え、前後に振り子運動をします。上下運動だけの場合と比べ、切断速度を高めることができ、効率の良い切断作業が行えます。半面、切断面が粗くなったりささくれが出やすくなったりします。
切断内容や材質に合わせて、「オービタル切り換えスイッチ⑧」を切り換えてください。

☞ 試し切断をして、最適なオービタル運動を決めてください。

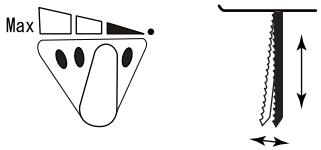
☞ 「オービタル切り換えスイッチ⑧」の切り換えは、切断中でもできます。

鉄板や薄くて硬い金属板などの切断や木材などの仕上げ切断
ジグソーブレード⑫の下向き刃（T-101BR）、ナイフ刃使用時



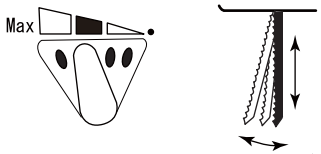
オービタル運動：なし

軟木・プラスチック・非鉄金属などの切断



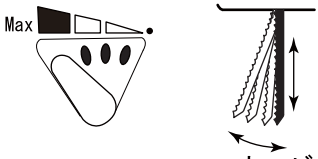
オービタル運動：小

軟質非鉄金属・プラスチック・軟木材などの切断



オービタル運動：中

軟木材やプラスチックなどの高速切断



5 電源プラグを電源コンセントに差し込む

⚠警告

◆「メインスイッチ②」がいっぱいまで引き込まれた（ON 保持）状態になっていないことを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込むときは、ジグソー本体を下向き（ブレードが下向きの状態）にして差し込んでください。

6 「メインスイッチ②」を操作する

スイッチの ON/OFF

スイッチ ON　：「メインスイッチ②」を引き込みます。
スイッチ OFF　：「メインスイッチ②」から指を離します。

☞ PST1000PEL のみ「メインスイッチ②」を引き込むと LED ライト⑩が点灯します。

連続作業する

● 連続作業するときは、「メインスイッチ②」をいっぱいまで引き込み、「ON 保持ボタン①」を左右どちらかの方向に押し込みます。
「メインスイッチ②」から指を離しても、スイッチ ON の状態が維持されます。

● 再度「メインスイッチ②」を引き込むと、「ON 保持ボタン①」は解除されます。

⑦ 材料を切断する

⚠注意
◆ 材料をしっかりと固定してから作業を行ってください。
◆ 「メインスイッチ②」を“ON”にしてからジグソーブレード⑫を材料に当ててください。

「メインスイッチ②」を“ON”にして、回転が十分に上がってから切断を始めてください。
ジグソーブレード⑫の動きが鈍くならない程度に本体を前に進めてください。
無理に力を入れたり、前に進めすぎても、速く切れません。
切断作業中、フットプレート⑥の全面が切断材料に接するようにしっかりと押しつけてください。

⑧ 切断作業を終了する

「メインスイッチ②」から指を離すとジグソーブレード⑫が止まります。
「ON 保持ボタン①」で ON 保持状態になているときは、「メインスイッチ②」を引き込むと止まります。

☞ 切断の途中でいったん作業を中止するときは、ジグソー本体を後方（切断開始位置の方向）へ移動させ、材料からジグソーブレード⑫を引き抜いてから「メインスイッチ②」を“OFF”にしてください。
☞ 「メインスイッチ②」を“OFF”にしたあと、ジグソーブレード⑫の動きを何かに押しつけて急激に止めるようなことはしないでください。
また、手で押さえるようなことは絶対にしないでください。
☞ ジグソーブレード⑫の動きが完全に止まってから、床などへ置いてください。

傾斜角度をつけて切断する

⚠警告 ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントから抜いて作業を行ってください。

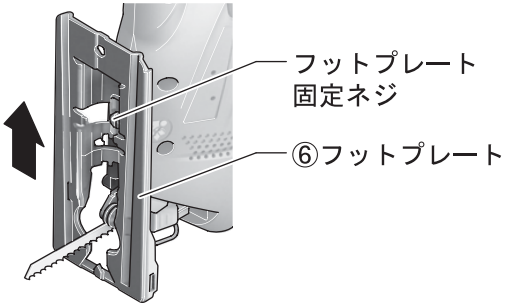
⚠注意 ◆ ジグソーブレード⑫は不用意に触れると危険です。けがの発生を防ぐため、取り扱いには注意してください。

☞ バリ止めガイド、円曲・平行ガイドは使用できません。
☞ 防じんカバー⑪は取り付けできません。
☞ ブレードケース④は取り外してください。
☞ ジグソーブレード⑫を取り付けたまま作業を行ってください。

1. フットプレートを緩めます。

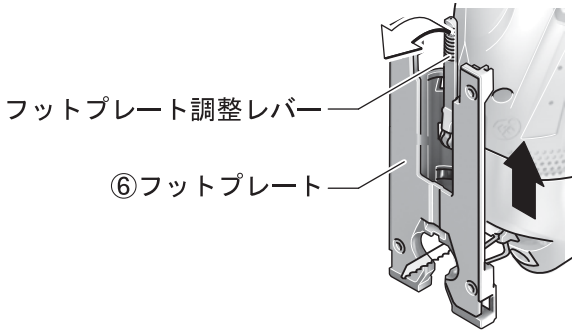
PST700、PST800PEL

マイナスドライバーでフットプレート固定ネジを緩めます。



PST1000PEL

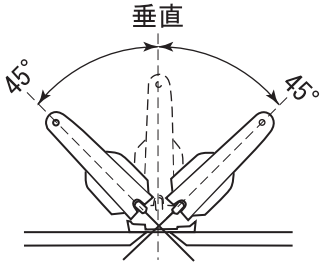
フットプレート調整レバーを矢印の方向に倒して緩めます。



2. フットプレート⑥を後方（吸じんホース差し込み口⑤側）にスライドさせます。

3. フットプレート⑥を任意の角度に傾けます。

☞ フットプレート⑥は、左右に最大 45°まで傾けられます。

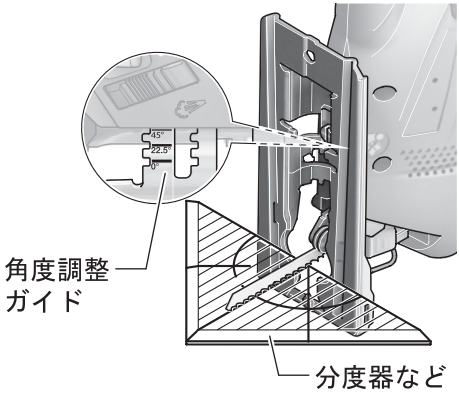


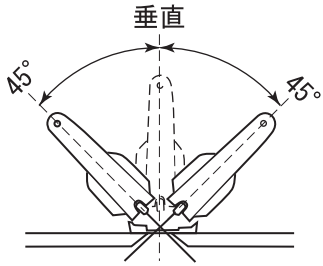
既定の角度（0°、22.5°、45°）に調整する

角度調整ガイドの目盛（0°、22.5°、45°）に合わせることで調整できます。

任意の角度に調整する

分度器などを使用して、任意の角度に調整します。フットプレート⑥は左右に最大 45°まで傾けられます。





4. フットプレート⑥を前方（ジグソーブレード⑫側）に、止まるまでスライドさせます。

5. フットプレートを固定します。

PST700、PST800PEL

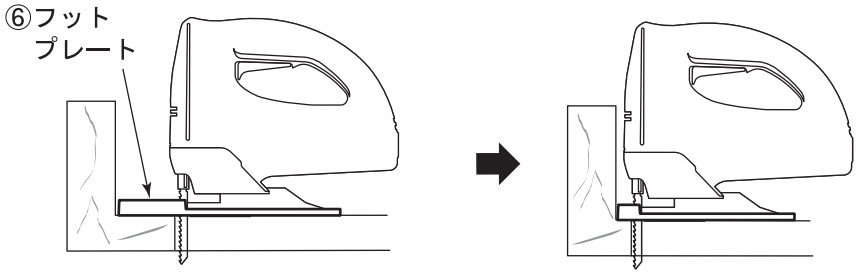
マイナスドライバーでフットプレート固定ネジを締めて固定します。

PST1000PEL

フットプレート調整レバーを本体側へ押し戻して固定します。

6. 「切断する」（22 ページ）の①項～⑧項の手順で切断します。

壁際まで垂直に切断する

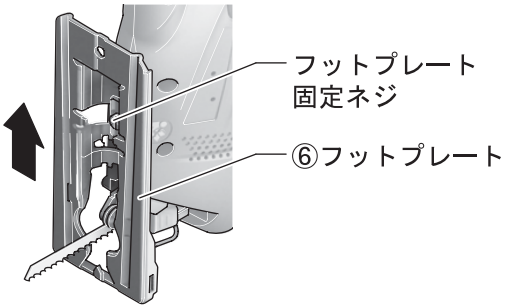


☞ バリ止めガイド、円曲・平行ガイドは使用できません。
☞ 傾斜切断はできません。
☞ 防じんカバー⑪は取り付けできません。

1. フットプレートを緩めます。

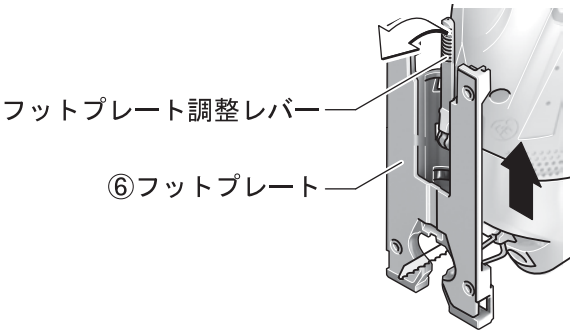
PST700、PST800PEL

マイナスドライバーでフットプレート固定ネジを緩めます。



PST1000PEL

フットプレート調整レバーを矢印の方向に倒して緩めます。



2. フットプレート⑥を最後方までスライドさせます。

3. フットプレートを固定します。

PST700、PST800PEL

マイナスドライバーでフットプレート固定ネジを締めて固定します。

PST1000PEL

フットプレート調整レバーを本体側へ押し戻して固定します。

ポケット切断をする

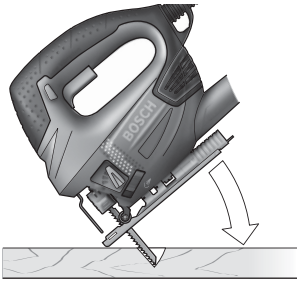
ポケット切断では、木材など軟らかい材料の中抜きができます。

⚠警告

- ◆ **ポケット切断をするときは、『切断する』の警告・注意文および操作方法をよく読み、内容を理解してから行ってください。**
- ◆ **電源コードを切断しないように注意してください。**

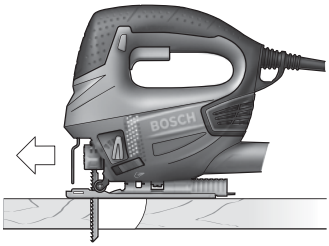
1. フットプレート⑥の先端部を材料に当て、ジグソー本体を確実に保持します。
   ☞ ジグソーブレード⑫は材料に当てないでください。

2. 「メインスイッチ②」を引き込み、フットプレート⑥の先端部を支点にしてジグソーブレード⑫をゆっくりと押し込んでいきます。
   ☞ 支点（フットプレート⑥の先端）が、材料から離れないよう、しっかりと固定してください。
   ☞ 切断を急がずに、ゆっくりジグソーブレード⑫を押し下げてください。



3. フットプレート⑥の下面すべてが材料に接したら、けがき線に沿って切断を続けます。

4. 切断が終わったら、「メインスイッチ②」から指を離し、本体を材料から離します。



⚠警告 ◆ アクセサリーを取り付けたり、取り外したりするときは、ジグソー本体の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

バリ止めガイドを使う

（バリ止めガイドは、PST800PEL、PST1000PEL のみ標準付属、PST700 は別売です）

切断面のささくれを防ぎます。

☞ あさり歯のジグソーブレード⑫は併用できません。

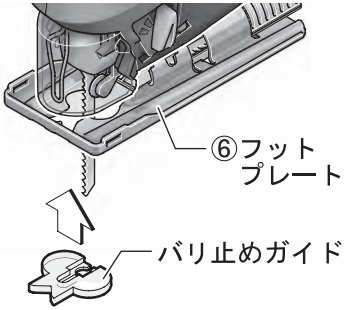
☞ 傾斜切断時は使用できません。

取り付け

フットプレート⑥の底側から、バリ止めガイドをフットプレート⑥にしっかり押し込みます。

バリ止めガイドは、平らな部分が多い面を下向きにして取り付けてください。

フットプレート⑥とバリ止めガイドが平らになっていることを確認してください。



取り外し

フットプレート⑥の表側から、バリ止めガイドを押し出します。

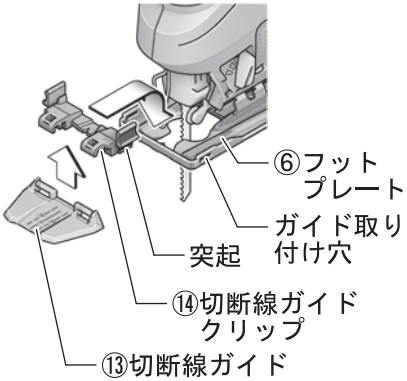
切断線ガイド⑬を使う

（切断線ガイド⑬は、PST800PEL、PST1000PEL のみ標準付属、PST700 は別売です）

切断線ガイド⑬を使用すると、正確な位置で切断できます。

取り付け

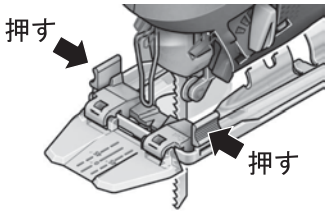
1. 防じんカバー⑪を取り外します。
2. 切断線ガイド⑬と切断線ガイドクリップ⑭を組み付けます。
3. 切断線ガイドクリップ⑭の突起をフットプレート⑥のガイド取り付け穴に入れてセットします。
4. 防じんカバー⑪を取り付けます。



☞ プラスチックベースプレートを装着して、切断線ガイド⑬を使用するときは、切断線ガイドクリップ⑭を使用せず、切断線ガイド⑬のみをプラスチックベースプレートに取り付けてください。

取り外し

1. 防じんカバー⑪を取り外します。
2. 切断線ガイドクリップ⑭のつまみを左右両側から内側に押し込みながら、フットプレート⑥から取り外します。
3. 防じんカバー⑪を取り付けます。



切断線の合わせ方

☞ 実際の作業前に、位置が合っているか確認するため、一度試し加工されることをお勧めします。

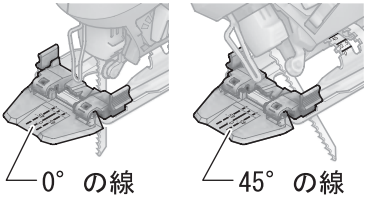
PST800PLE（PST700）

0°で切断するとき

中央の“0°”の線を切断線に合わせます。

45°で切断するとき

左右の“45°”の線を切断線に合わせます。



22.5°で切断するとき

“0°”と“45°”の中心に水性マジックで印を付けて切断線に合わせます。

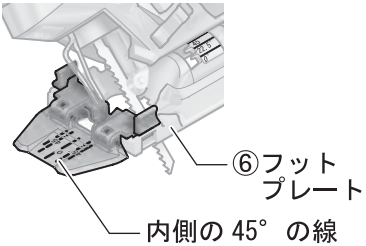
PST1000PLE

0°で切断するとき

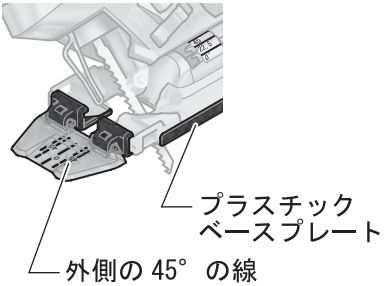
中央の“0°”の線を切断線に合わせます。

45°で切断するとき

フットプレート⑥に切断線ガイド⑬を取り付けた場合は“内側の45°”の線を切断線に合わせます。



プラスチックベースプレートに切断線ガイド⑬を取り付けた場合は、“外側の45°”の線を切断線に合わせます。



22.5°で切断するとき

“0°”と“45°”の中心に水性マジックで印を付けて切断線に合わせます。

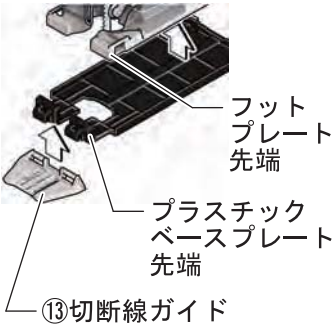
プラスチックベースプレートを使う（PST1000PEL のみ）

（プラスチックベースプレートは PST1000PEL のみ標準付属です）

材料（木材・プラスチックなど）表面の傷つきを防ぎます。

取り付け

1. フットプレート⑥の先端にプラスチックベースプレートの先端をセットします。
2. プラスチックベースプレートの後端を持ち上げ、フットプレート⑥の後端に押し込みます。



☞ プラスチックベースプレートを装着して、切断線ガイド⑬を使用するときは、切断線ガイドクリップ⑭を使用せず、切断線ガイド⑬のみをプラスチックベースプレートに取り付けてください。

取り外し

1. フットプレート⑥の後端から、プラスチックベースプレートの後端を取り外します。
2. フットプレート⑥の先端から、プラスチックベースプレートの先端を取り外します。

円曲・平行ガイド

（円曲・平行ガイドは、PST1000PEL のみ標準付属 PST700、PST800PEL は別売です）

円曲（丸形状）切断、平行切断が正確に行えます。

☞ 円曲・平行ガイドが使用できる板厚は最大 30㎜ です。

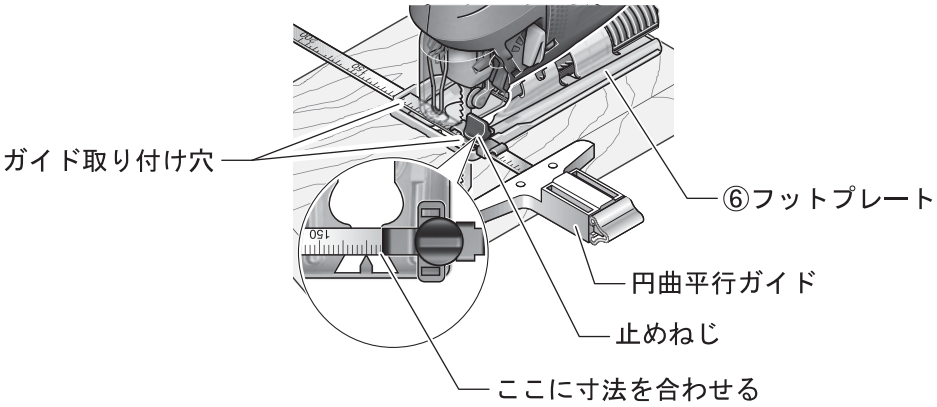
平行切断

1. フットプレート⑥のガイド取り付け穴に円曲・平行ガイドを図の向きで差し込みます。

2. 円曲・平行ガイドを材料の側面に当て、円曲・平行ガイドの目盛りで切断する幅を設定します。（最大 200㎜）
   ☞ ジグソーブレード⑫の厚みにより、希望の切断寸法と実際の切断寸法に、差が出る場合があります。
   ジグソーブレード⑫の厚みを測り、円曲・平行ガイドの位置を調整してください。

3. 止めねじで円曲・平行ガイドを固定します。

4. 「切断する」（22 ページ）の①項～⑧の手順で切断します。

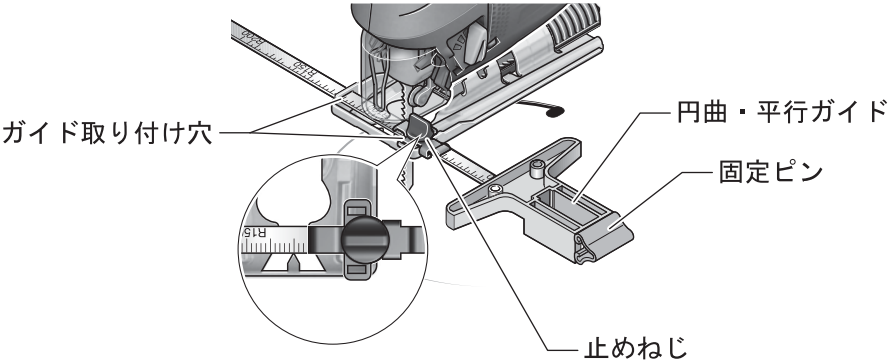


円曲切断

1. 円曲・平行ガイドを平行切断の時とは逆に裏返してガイド取り付け穴に差し込みます。

2. 円曲・平行ガイドの目盛りで切断半径を設定します。（半径 80～205㎜に調整できます）

   ☞ ジグソーブレード⑫の厚みにより、希望の切断寸法と実際の切断寸法に、差が出る場合があります。
   ジグソーブレード⑫の厚みを測り、円曲・平行ガイドの位置を調整してください。



3. 円曲・平行ガイドの先端から固定ピンを抜き、円曲・平行ガイドの穴に差し込み、切断面の中心に固定します。
   逆回りで切断するときは、円曲・平行ガイドを反対側から差し込み、同じ要領で設定してください。

4. 「切断する」（22 ページ）の①項～⑧項の手順で切断します。

吸じんシステム（別売）と接続する

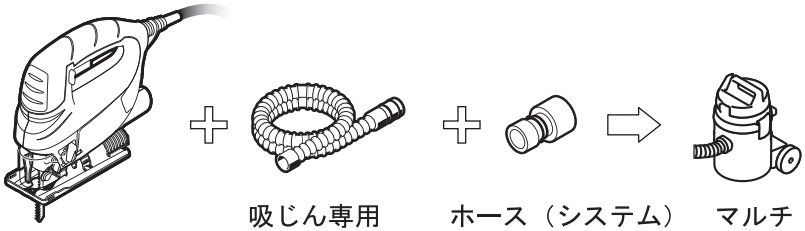
吸じん専用ホース、ホース（システム）アダプターを介して、ボッシュマルチクリーナーと接続することで、吸じんしながら作業ができます。
（吸じん専用ホース、ホース（システム）アダプター、マルチクリーナーは別売）

1. ジグソー本体前部に、防じんカバー⑪を取り付けます。

2. 吸じんホース差し込み口⑤に吸じんホース③を接続します。

3. 吸じんホース③とボッシュマルチクリーナーを接続します。

4. 「ブロワ ON/OFF スイッチ⑦」を“◎”側にします。



☞ ホース（システム）アダプターはマルチクリーナーにより異なります。詳しくはボッシュカタログまたはマルチクリーナー本体の取扱説明書を参照してください。

☞ 吸じんのアドバイス ： 切断材料の下に断熱材等（100㎜厚くらいのもの）を敷き一緒に切断すると、吸じん効率をさらに高めることができます。

困ったときは

故障かな？と思ったら

① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症　　状	原　　因	対　　処
「メインスイッチ②」を引き込んでも、動作しない	電源プラグが電源コンセントから抜けている カーボンブラシが消耗している	電源プラグを電源コンセントに差し込む 交換を依頼する
切断に時間がかかる（切断できない）	ジグソーブレード⑫が摩耗している 使用電源の電圧が低下している	ジグソーブレード⑫を交換する 100V の供給ができる電源を使用する
ジグソーブレード⑫がプランジャーに挿入できない	プランジャーがロック状態になっている	SDSレバーを1回スライドさせる
作動したまま止まらない	「メインスイッチ②」がオン保持状態になっている	「メインスイッチ②」を引き込んで、離す

修理を依頼するときは

◆ 『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前 9：00～午後 6：00
※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。
コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107　埼玉県熊谷市千代 39
TEL 048-536-7171　FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104　福岡県糟屋郡新宮町的野 741-1
TEL 092-963-3486　FAX 092-963-3407

お手入れと保管

⚠警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントから抜き、ジグソーブレード⑫をジグソー本体から取り外してからお手入れしてください。

クリーニング

通風口やプランジャーなどの切り粉、ホコリを取り除く

☞ 本体に切り粉やホコリがたまると故障の原因になります。

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

ジグソーブレードのお手入れ

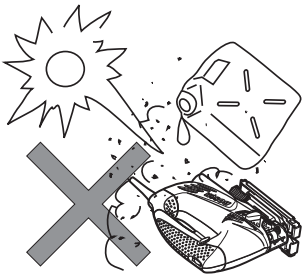
⚠警告

◆ ジグソーブレード⑫は、歯先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。

ジグソーブレード⑫に付着した切り粉、ホコリを取り除く

ジグソーを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、40℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



● 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
● 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
● 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

BOSCH

ボッシュ株式会社　電動工具事業部

ホームページ：http://www.bosch.co.jp

〒150-8360　東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンター フリーダイヤル

0120-345-762

（土・日・祝日を除く、午前 9：00〜午後 6：00）

＊携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルの
ご利用はできませんのでご了承ください。

2 609 005 323 (11. 12)